

録風 おおしがわ

Ryokuhu
Ooigawa



Vol.67
2021.新年号
森林組合おおしがわ



安全祈願祭と安全大会を開催しました 森林経営課 若林 仁

令和2年11月6日（金）島田市川根文化センター「チャリム21」にて、令和2年度森林組合おおしがわ安全祈願祭並びに安全大会を開催しました。新型コロナウイルスの影響もあり、参加者全員がマスク着用をして受付で検温とアルコールの消毒を行い、1Fの大ホールにてソーシャルディスタンスを保ち、家山八幡宮の青木宮司による、1年間の安全祈願をしていただきました。次に安全大会では巴博紀技術員による労災防止の基本要点を全員で唱和しました。組合長による挨拶を経て、新入職員、新入技術員の紹介、その他に「大日山シーテック伐採現場にて大経木の伐倒作業の動画上映」、コンプライアンス研修では三井住友海上 浜松支店浜松第二支社支社長代理の西浦文吾様による情報漏洩の発生状況・再発防止、情報管理における留意事項などの研修を行いました。

午後の部では静岡市消防局島田消防署 川根南出張所から緊急時の対応についての講義と、現場での救助を想定し、木材と毛布、ロープで作成した担架で実際に人を乗せて運び出す実施訓練を行いました。

次にNPO法人静岡山の文化交流センター理事長 山本良二様による「山登りの歩き方」、「スポーツアルピニズム（先鋭登山）からのアドバイス」の講習を拝聴しました。改めて安全に対する座学から実践的な訓練まで幅広く学ぶ事ができました。

令和に入り早くも2回目の新年を迎えました。旧年中、組合員並びに関係者の皆様には組合業務にご理解とご協力を頂きまして誠にありがとうございました。

昨年は社会・経済とも新型コロナウイルスの影響を大きく受けた年でした。いろいろな組織がテレワークの導入に取り組むなど、わが国でも様々な形で新しい暮らしに適した社会の在り方を模索し始めた年でもありました。今年は新型コロナの効果的なワクチンの承認や普及が進み、より安心な日々が早く訪れる事を期待します。

今年も森の力再生事業や搬出間伐事業を継続し地域の森林整備を進めると共に、森林環境譲与税を活用した市町独自の調査事業や森林整備事業にも積極的に対応していきます。

森林組合おおいがわ管内の森林は7万6千haあり、特に継続的な管理が必要な杉・桧を中心とした約3万3千haの民有人工林があります。この面積に比べれば各市町に今後も継続的に配分される森林環境譲与税で対応できる森林管理、木材消費拡大、人材育成など限りがありますが、より地域の課題に対応した事業が行われるよう、組合員の実情・意見を踏まえ地元林業事業体と連携しながら行政機関に積極的に要望・提案活動を進めていきます。

近年、集中豪雨や風害の頻発が顕著になっています。社会的・経済的な理由で荒廃森林の増加が懸念される現状を併せて考えると、風の影響を受けにくい森づくりや流木災害等を軽減する取り組みが必要です。また、人々が日常生活の中で森林・林業の現状に接する場面が少なくなり、課題や森林の持つ様々な機能や魅力を知る機会が減っています。森林組合としても関係機関のご指導や協力を仰ぎながら「災害に強い森づくり」や、森林や林業の役割を理解し、社会全体で森林を守り利用していくための「森林環境教育」についても検討や試行を重ねていきます。

コロナ禍で新たな日常のあり方や社会のあり方が問われています。今後新たな生活様式を創造していく中で、森林やその資源・魅力を通じてどんな価値を提案できるか林業や木材業界が問われていると思います。

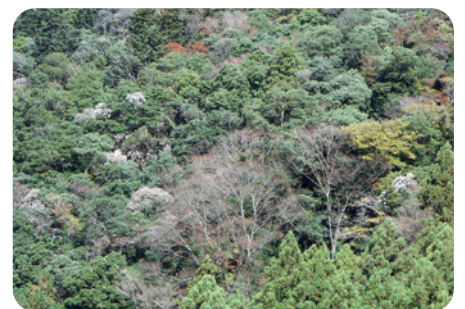
令和3年も組合活動に対しまして、組合員及び関係者各位の一層の御参画をお願い致します。

ナラ枯れについて

杉山 嘉英

コナラなどの樹木が急に枯れてしまうナラ枯れが県内各地で発生しています。しばしば集団的に枯れる被害で静岡県では2010年頃から発生しています。正式名称は「ブナ科樹木萎凋病」で、ナラ類やシイ・カシ類などの樹幹にカシノナガキクイムシが潜入り、ナラ菌を樹体に感染させ、菌が増殖することで水の吸い上げを阻害して枯死させる伝染病です。カシナガ被害とも言われます。

カシナガは6~7月頃にナラ菌を持って飛び立ち、なるべく太い木の幹に取り付くとすぐに穿入を始め、一つの孔には一対の雄雌が入り(※)孔道の壁にナラ菌を植え付けながら産卵します。翌年成虫になって飛び立つ時一つの孔から条件が良ければ100もの新しい成虫が発生します。標高1100mを超える場所では被害はほとんど出ていません。ナラ枯れ被害木の特徴は、紅葉の時期ではないのに真夏~晩夏にかけて急に葉が萎れ、茶色や赤茶色に枯れる。幹に特に根元にはカシナガが穿入した直径2mmほどの孔がたくさんあいている。穿入孔からは大量のフラス(木くずと虫の排泄物が混じったもの)がでて、根元や樹皮に堆積している。などが挙げられます。



防除法には、予防策として殺菌剤を樹幹注入しナラ菌の繁殖を抑止する、樹幹に粘着剤や殺虫剤を塗布しカシナガの穿入を阻止する、樹幹をビニールシートで覆うなどです。また、駆除策として伐倒くん蒸、破碎・焼却、誘因捕殺などです。それぞれ長短があり関係機関で一層効果的な防除手法の研究・実用化が進められています。

40~50年以上の高齢木で被害は多く、直径30cm前後で枯死率が急激に高まるとの報告もあります。枯れる前に資源として有効に使用する、枯死木は燃料などとして活用するなど従来の里山利用の仕組みを再評価、再構築し、「持続する里山整備」を進めて行くことが必要です。

※水を吸い上げる為の通り道

事業
紹介

長島ダム 大樽右岸駐車場植栽工事 北部森林センター長 藪下 典昭

長島ダム大樽法面右岸駐車場の一画に11月エリゲロンの植栽を行いました。

聞き慣れない植物ですが、和名では源平小菊といいキク科の耐寒性多年草です。小菊の様な小さな花が初夏から秋までと花期が長くたくさん開花し花色は白からピンクへと変化していきます。性質はとても丈夫で耐寒性のほか耐暑性もあるようです。広がるように成長し環境に適応し始めるとこぼれ種でも増えていき、ちょっとした石の隙間などでも育つ強い植物です。



こんな花が咲きます



こんな感じで植えました

まだ植えたばかりですが早ければ来年の春に愛らしい花を咲かせるかもしれません。又、お立ち寄りの際はご覧下さい。

まだ植えたばかりですが早ければ来年の春に愛らしい花を咲かせるかもしれません。又、お立ち寄りの際はご覧下さい。

「コンテナ苗」について

森林経営課長 原木 克司

過去の「緑風おおいがわ」でもお知らせしてきましたが林業政策がこれまでの間伐中心から主伐・再造林への転換期をおかえています。

低コストで造林するためには伐採から造林を一貫して行う必要があります。今後、苗木の主流もコンテナ苗に切り替わっていきます。今回このコンテナ苗の特徴について紹介させていただきます。



コンテナヒノキ苗



コンテナスギ苗

活着率が良い

植栽時に乾燥等にさらされにくく根が傷まないため、活着がよく植栽時期の自由度が広がります。

初期成長が早い

根鉢があるので根の損傷がなくこれまでの試験結果では、コンテナ苗の樹高及び直径成長は従来の裸苗に比べやや良いとの報告があります。

植栽時も低コスト

従来の植栽手間よりも植付け作業に熟練を必要とせず「ダブル」と呼ばれる専用器具で簡単に作業できます。

◆ 新入職員紹介 ◆ ひらい しおり 平井 栞吏

2020年11月から本所の林産課でお世話になっております、平井栞吏と申します。

山登りや農業、自然に関わるのがとても好きです。林業に携わるのは初めてで、ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、精一杯努力してまいりますのでご指導のほどよろしくお願いいたします。



第5回 編集員のつぶやき

自然の中で食べるご飯は美味しいです。本当に美味しい。特に冬場、現場でたき火にあたりながらサバの麴漬けを焼いて食べると本当に美味しいです。自宅のガスコンロではあの味を再現出来ないのです。先日近所のスーパーで買ったサバをフライパンで焼いて食べました。これがまたまずいのなんの！また別の日にはブリを買ってきて、たれを使って照り焼きを作ってみました。しかしこれもまずいのなんの！男の一人暮らしの殺風景な部屋では、何を食べても代わり映えしません。やはり仲間と火を囲い、談笑しながら食べるのには敵いません。それにしても、先に挙げたブリの照り焼き、自信作だったのにイマイチだったのは残念…。産地はどこだったんだろう？と言っても、ブリの名産地ってどこなんですかね？

農林水産業功労者表彰を受賞しました

本組合の副組合長でありました曾我 茂さん（藤枝市滝ノ谷在住）が令和2年度の静岡県農林水産業功労者表彰を受賞されました。（写真2列目中央）

曾我さんは合併前に藤枝市森林組合の理事に就任され、本組合の設立にも貢献されました。合併以降も理事として本組合の運営に携わり、平成23年には副組合長に就任され、組合員への利益還元を信条に、購買商品券の配布や搬出奨励金の制度を確立し、組合経営の安定化に大きく貢献したことが評価されたものです。

今後も、総代として組合運営に係るほか、地元滝ノ谷地区の振興のために手腕を発揮していただけるものと期待しております。このたびの受賞誠におめでとうございます。



静岡県森連静岡営業所市況速報

令和2年12月3日		2576回				△強気配 ○保合 ▼弱気配		
樹種	長さ(m)	末口径(cm)	落札価格			気配	摘要	昨年同期中値(円)
			高値(円)	中値(円)	1本当(円)			
す	3.0	14	10,000	10,000	590	9,500	△ 柱目3.5寸取り	9,500
		16~18	11,000	10,000	870	10,000	△ 柱目4寸取り	11,000
		20~22	12,500	12,000	1,584	12,000	△ 中目	12,500
	4.0	8~12	330	300	-	270	○ 本 @	300
		13	9,500	9,000	612	9,000	○ 母屋取り	9,500
		14	10,000	10,000	780	10,000	△ 桁目3.5寸	10,000
		16~18	11,500	10,000	1,160	9,500	▼ 桁目4寸	11,000
		20~22	13,500	12,000	2,112	10,000	○ 中目	12,500
		24~28	20,000	14,000	3,780	9,100	○ 中目	13,200
		30~34	22,900	14,800	6,068	9,300	○ 二番玉節少	16,300
36~	28,500	15,000	7,770	9,000	- 根玉選木	17,800		
6.0	16~18			0		通し柱	15,500	
	20~22			0		通し柱	14,500	
				0		通し柱		
ひ	3.0	14~15	15,500	15,500	915	14,500	○ 柱目3~3.5寸	15,000
		16	22,000	21,000	1,617	20,000	△ 柱目3.5~4寸	21,590
		18~22	19,000	18,500	2,220	17,600	○ 柱目4寸取り	18,500
	4.0	8~12	330	330	-	330	○ 本 @	350
		13	12,000	12,000	816	11,500	△ 3寸取り	12,000
		14	15,500	15,000	1,170	15,000	△ 土台目3.5寸	15,800
		16	21,000	20,000	2,040	19,000	△ 土台目3.5寸	21,590
		18	19,000	18,500	2,405	18,000	△ 土台目4寸	20,390
		20~22	22,000	17,500	3,080	16,000	○ 中目縁甲取り	18,000
		24~28	35,390	19,600	5,292	14,000	○ 中目	21,800
30~34	31,800	23,000	9,430	14,000	○ 二番玉節少	19,700		
6.0	30~	72,000	25,100	13,002	13,000	- 根玉選木	21,600	
	16		19,000	3,287		△ 通し柱3.5寸	21,000	
	17		24,000	4,152		△ 通し柱4寸	26,000	
き	18		28,000	6,076		△ 通し柱	30,000	
	20		24,000	6,360		△	26,000	
	22		20,000	6,340			22,000	

○ スギ・ヒノキ全般好調をキープ ○

市況結果ですが、前回まで少し荒れ気味だったヒノキ中目材において、少し落ち着いてきたものの概ね保合で推移した印象である。以前より話をさせていたヒノキ構造材の3.0m-4.0m14cm-18cmの不足は解消は未だできていない。その為、値が崩れることもなくスギの4.0m24cm上材は更に好調に推移。また、スギ3.0m14cm上材にもかなりの引き合いがあり、是非造材をお願いしたい。結局無い物は解消することなく今まではきている。今後コロナ禍の影響がどうなるか不安はあるものの、この状況は続くのではないだろうか。しかしながら土場の入荷状況もいまち伸びてこないのが現状である。相場も天候も安定しています。皆様からのご出材をお願いします。

組合員のみなさまへ

相続等で所有山林に異動（相続・取得・売却）が生じた際には森林組合本所までご一報くださるようお願いいたします。組合員名簿および出資証券の名義変更が必要となります。

編集後記

新年あけましておめでとうございます。

今年も組合員の皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。事業紹介に載せました長島ダム植栽工事では、2006年には芝桜がピンクの花を斜面いっぱい咲かせました。今回は、駐車場の一角にエリゲロンという可愛い花が見られることを楽しみにしています。また、しいたけ市況ですが秋号から市がなかった為、新年号ではお休みさせていただきました。

緑風編集員一同、今年も充実した紙面づくりに頑張りますのでよろしくお願いいたします。

発行

森林組合おおいがわ

〒427-0233 静岡県島田市身成162番地
TEL 0547-30-2111 FAX 0547-30-2112
Mail shinrin-ooigawa@snow.ocn.ne.jp
URL http://ooigawa-jforest.jp